

大田区自然観察路「雑木林のみち」の
生物・植物についての区民協働調査

実施報告書

2017年3月

一般社団法人

地域パートナーシップ支援センター

〈 報告内容 〉

1. 調査実施概要

- 1. 1 調査名称
- 1. 2 調査目的
- 1. 3 調査地域
- 1. 4 調査項目
- 1. 5 調査期間
- 1. 6 調査方法
- 1. 7 調査員

2. 調査結果

- 2. 1 「雑木林のみち」と調査コースについて
- 2. 2 調査コース概要
- 2. 3 本調査 植物・樹木調査
- 2. 4 本調査 生物調査 <野鳥>
- 2. 5 本調査 生物調査

<昆虫、哺乳類、爬虫類、両生類、魚類等>

- 2. 6 協働調査 <区民参加による調査普及活動>

1. 調査実施概要

1. 1 調査名称

大田区自然観察路「雑木林のみち」の生物・植物についての区民協働調査

1. 2 調査目的

自然観察路「雑木林のみち」は元々、東急線多摩川駅（旧・多摩川園駅）から田園調布駅までの1.3kmの道のりを歩きながら雑木林の自然を観察するコースであり、特色のある自然環境が存在する。この調査報告書は、自然観察路を中心とした生物相の状況を把握し、区民等が自然観察を行う際の資料として提供するだけでなく、今後区民と協働して行う自然環境及び環境保全施策の基礎として利用できるようにする。

なお、今回の調査にあたって新たに六郷用水（一部）、田園調布せせらぎ公園を加えた、新しい「雑木林のみち」づくりのための調査も行った。

また、調査にあたって区民から参加者を募集する協働調査（観察会）も実施し、区民の環境への関心を高め、生物多様性の理解促進を図った。

1. 3 調査地域

大田区自然観察路「雑木林のみち」（大田区立多摩川台公園、大田区立宝来公園）、大田区立田園調布せせらぎ公園、六郷用水の指定部分



1. 4 調査項目

- (1) 植物（草本、樹木）
- (2) 鳥類
- (3) その他（昆虫類、哺乳類、爬虫類、両生類、魚類、陸産貝類など）

1. 5 調査期間

2016年4月12日～2017年3月17日

この期間内に本調査および区民参加による協働調査（観察会）を実施

1. 6 調査方法

本調査

調査地域内で確認された個体について数、種類を記録する。ただし、識別不能な個体については可能な範囲で記録をとる。

確認した生物、植物および調査場所の環境をデジタルカメラで写真撮影し記録する。

自然観察路内の案内板、解説板の現状を確認、記録し、現在の環境に即した案内板、解説板の検討を行う。

協働調査

調査内容、方法について検討し、参加する区民に対して調査方法、識別方法の説明を行い、本調査に準じた区民参加の調査を行う。

1. 7 調査員

専門調査員

川沢 祥三、大塚 豊（野鳥）
鈴木 百合子、山邊 功二（樹木、植物）
小野 紀之（総括）

区民参加調査員

7月10日 区民25名
10月16日 区民15名

1. 8 写真撮影

大塚 豊、鈴木 百合子、山邊 功二、小野 紀之

1. 9 報告書作成者

小野 紀之、山邊 功二

2. 調査結果

本調査は、大きく分けて植物・樹木、野鳥の2分野について実施した。野鳥は専門の調査員によって定期調査を4回（5月、8月、11月、2月）、植物・樹木も同時期に定期調査を4回実施した（ただし、公園は1回の定期調査では調査不可能なため、それぞれの時期に複数回の調査を実施）。

協働調査は、参加した区民を対象に身近な環境、生き物への関心を高めることを目的に多摩川台公園で観察会を実施した。

2. 1 「雑木林のみち」と調査コースについて

大田区では1987年（昭和62年）発行のパンフレットで大田区内に5ルート
の自然観察路の紹介を行っている。「雑木林のみち」は、東急線多摩川園駅（現・
多摩川駅）から多摩川台公園、宝来公園を経て東急線田園調布駅に至る1.3キロ
メートルをめぐるコースで、歩きながら雑木林の自然を観察することができる。

しかし、今回の調査では、多摩川駅から2つの公園を経て田園調布駅に至るコー
スの見直しを行い、道路部分を除き、せせらぎ公園と六郷用水（旧六郷用水跡を整
備したもので、本調査では、旧中原街道から丸子橋下までを呼ぶ）を加え、「雑木林
のみち」とした。



「大田区の自然観察路」 平成7年3月発行パンフレットより

2. 2 調査コース概要

今回の調査では、「雑木林のみち」を3つの公園と六郷用水沿いの合計4つのエリアに分けた。

六郷用水

六郷用水は、17世紀初めに開削され、当時の世田谷領、六郷領の49か村の灌漑用水として利用された。多摩川中流の狛江市から取水し、世田谷区を東に流れ、田園調布から鶉の木、下丸子などを通過していた。

現在では大部分が暗渠化されているが、中原街道から鶉の木付近まで人工の水路と植栽が施され、快適な散策路が整備されている。

水流の水源にはせせらぎ公園内の湧水群を利用しており、水質はかなり良好なため、水生動植物の生態系が維持されている。



田園調布せせらぎ公園

田園調布せせらぎ公園は、昭和初期に遊園地として開園し、昭和後期になってテニスクラブとなり、私的に管理されてきた。その後、公園となって平地のテニスコートは、グラウンドや草地になったが、斜面部は従来の雑木林や常緑樹林が残されている。

全体面積は約3万5千平方メートルであり、平地には様々な種類の園芸種の植栽が施されている。急崖には3つの湧水池が存在し、「せせらぎ公園」の名称の由来となっている（これらの湧水は集められ六郷用水の水源になっている）。

グラウンド、広場、歩道は良く整備されていて、ボール遊びや休息に利用されている。



2. 3 本調査 植物・樹木調査

今回の調査では「雑木林のみち」を、「六郷用水」「田園調布せせらぎ公園」「多摩川台公園」「宝来公園」エリアに分け、それぞれに生育する植物・樹木について調査集計を行った。

大田区自然観察路「雑木林のみち」の代表的な樹木



アカガシ (六郷用水)



シラカシ (せせらぎ公園)



クスノキ (せせらぎ公園)



ミズキ (せせらぎ公園)



ムクノキ (せせらぎ公園)



トウネズミモチ
(せせらぎ公園)



イロハモミジ
(せせらぎ公園)



アカマツ (多摩川台公園)



クロマツ (多摩川台公園)



エゴノキ (多摩川台公園)



メタセコイア
(多摩川台公園)



イヌシデ (宝来公園)



クヌギ (宝来公園)



スダジイ（せせらぎ公園）



マテバシイ（せせらぎ公園）

草本(2)

科名	種名	多摩川台公園				宝来公園				せせらぎ公園				六郷用水			
		5~6月	8月	11月	2月	5~6月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月
ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ																
ヤマノイモ	オニドロロ																
	ヤマノイモ																
ユリ	サルトリイバラ																
	ジャノヒゲ			花				花				花					
	ノビル																
	ヤブラン																
ラン	ギンラン																
	シラン	花				花				花				花			
シダ類																	
ウラボシ	ノキシノブ																
オシダ	ベニシダ																
	ヤブソテツ																
	ヤマソテツ																
コバノイシカグマ	フモトシダ																
	スギナ																
ヒメシダ	ヒメウラボシ																
	ミソシダ																
フサシダ	カニクサ																
ミスワラビ	ホウライシダ																
メシダ	シケシダ																
47科 109種		45科 102種				33科 63種				37科 82種				27科 46種			

樹木(1)

科目	種名	多摩川台公園				宝来公園				せせらぎ公園				六郷用水			
		5~6月	8月	11月	2月	5~6月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月
アオイ	フヨウ		花	花													
	ムクゲ						花										
アオギリ	アオギリ			実				実									
アケビ	アケビ																
イイギリ	イイギリ			実				実									
イチイ	キカラボク																
イチヨウ	イチヨウ																
イヌガヤ	イヌガヤ																
ウコギ	カクレミノ																
	キツタ																
	タラノキ																
	ヤツデ																
ウルシ	ハゼノキ			実				実									
	ヌルデ																
エゴノキ	エゴノキ	花	実			花	実			花	実			花	実		
カキノキ	カキノキ																
カエデ	イロハモミジ																
	オオモミジ																
	トウカエデ																
カハノキ	イヌシデ																
キブシ	キブシ																
キョウチクトウ	キョウチクトウ																
	テイカカズラ	花															
クスノキ	クスノキ		実				実				実						
	ゲッケイジュ																
	シロダモ			実								実					
	タブノキ																
	ヤブニツケイ																
クマツツラ	クサギ		花								花				花		
	ムラサキシキブ	花		実		花		実		花		実		花		実	
グミ	ツルグミ																
	ナワシログミ																
クワ	クワクサ																
	マダマ																
	ヤマクワ																
シャクナゲ	セイヨウシャクナゲ																
スイカズラ	ガマズミ																
	サンゴジュ																
	スイカズラ																
	ニワトコ																
スギ	スギ																
センダン	センダン																
センリョウ	センリョウ			実				実									
ソテツ	ソテツ																
ツゲ	ツゲ																
ツツジ	アセビ																
	オオムラサキ	花				花				花				花			
	クリシマツツジ	花															
	サツキ	花				花				花				花			
	シャクナゲ	花															
ツバキ	ドウダンツツジ																
	サザンカ			花				花				花				花	
	ツバキ																
	チヤノキ																
	ヒサカキ																
トウダイグサ	モッコク																
	ヤブツバキ				花			花				花					花
	アカメガシワ																
トチノキ	トチノキ																
トベラ	トベラ																
エガキ	シシジエ																
ニシキギ	マユミ																
	ニシキギ																

樹木(2)

科目	種名	多摩川台公園				宝来公園				せせらぎ公園				六郷用水			
		5~6月	8月	11月	2月	5~6月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月
ニレ	エノキ																
	ケヤキ																
	ムクノキ																
バラ	ウメ	青実			花	青実			花				花				花
	シヤリンバイ																
	ソメイヨシノ																
	タチバナモドキ			実								実					
	ノイバラ																
	バラ																
	ビワ																
ヒノキ	ベニカナメモチ																
	ヤマブキ																
	カイズカイブキ																
ブナ	サワラ																
	ヒノキ																
	メタセコイア																
	アベマキ																
	アカガシ																
	アラカシ																
	ウバメガシ						実										
	クヌギ																
	クリ																
	コナラ																
ブドウ	シラカシ			実				実				実				実	
	スダジイ																
	マテバシイ																
	ツタ																
	ノブドウ																
	イヌマキ																
	アカマツ																
	クロマツ																
	サネカズラ																
	マメ	エンジュ															
ハリエンジュ																	
フジ																	
マンサク	ヒュウガミズキ																
	キンカン																
ミカン	サンショウ																
	ナツダイダイ																
ミズキ	アオキ																
	クマノミズキ																
	ハナミズキ																
	ミズキ																
ミソハギ	ヤマボウシ	花								花							
ミソハギ	サルスベリ																
	ゴズイ			実													
メギ	ナンテン	花		実						花		実					
	ヒイラギナンテン	花								花							
モクセイ	キンモクセイ																
	トウネズミモチ	花		実		花		実		花		実		花		実	
	ネズミモチ	花		実						花		実					
	ヒイラギ																
	ヒイラギモクセイ																
モクレン	レンギョウ																
	コブシ																
	タイサンボク																
	モクレン																
モチノキ	ユリノキ																
	イヌツゲ																
	クロガネモチ			実				実				実					
ヤシ	モチノキ																
	シュロ																
ヤマモモ	ヤマモモ																
	マンリョウ			実				実				実					
ユキノシタ	ヤブコウジ																
	アジサイ																
	ウツギ																
	ガクアジサイ																
	ヤマアジサイ																
56科 132種		49科 119種				41科 73種				41科 94種				23科 45種			

「雑木林のみち」の雑木林は武蔵野を代表する風景である。水の少ない台地部と農家によって薪や炭の用材や農用（キノコ栽培や堆肥づくり）の林としてつくられた二次的な自然であり、丘陵地では里山と呼ばれる。

雑木林は成長の早い高木のクヌギ、コナラなどと、低木のミズキ、エゴノキなどからなる。人々の生活に適応した植生と生態系が成立しており、昭和30年頃までは東京郊外の一般的な風景として残っていた。現在では、公園のほか崖線の一部に残っているにすぎないが、貴重な自然にふれる場所になっている。これらは冬期に落葉し、広葉であるため落葉広葉樹林と呼ばれ、落葉しているときは林地内に太陽光が射し込むので、低層の植生や動物が活発に活動できる環境を呈している。

1. 六郷用水（崖線樹林）

中原街道の丸子橋から約350メートルの旧中原街道まで六郷用水崖線が続く。現在の六郷用水は、せせらぎ公園の湧水を水源とする幅2メートル、水深30センチメートルほどの人工水路で、並行する道路との間に遊歩道が造られている。崖線は比高10メートル程度である。常緑樹のほかにケヤキ、コナラなどの落葉樹が生育している。

六郷用水の水路、崖線、遊歩道では、樹木類23科45種、草本類27科46種が確認された。崖線には、クロマツ、スダジイのほか、ケヤキやアカガシなどの高木とヤブツバキ、シュロ、ネズミモチなどが繁茂している。特にシュロは近年その増殖が著しいようにみえる。遊歩道にはサクラとオオムラサキが植えられており、サクラは大木になっている。水路にはセキシノウヤホウライシダがみられるが、水路の清掃等の管理が行き届いているため、雑草の繁茂はみられない。調査時にも清掃職員が網をもって水面のごみをすくう作業をしていた。

水路や遊歩道は自然を活かした設計でよく管理がなされていて、清流と緑に覆われた静かな散策路として多くの人々が利用している。





2. 田園調布せせらぎ公園

田園調布せせらぎ公園は、古くから残る樹林が斜面部に存在し、湧水や池があって多様な景観を呈している。

せせらぎ公園の植物種は、樹木類41科94種、草本類37科82種が確認された。斜面部には、ケヤキ、コナラ、クヌギなどの落葉樹とスタジイ、アカガシ、ネズミモチなどの常緑樹が多くみられる。グラウンドや広場にはサクラやクスノキが植えられ、その他多くの園芸種がみられる。湧水池や水辺の周囲にはセキショウ、フキ、セリなどのほかにオオバコ、ドクダミなどの植物もみられる。

グラウンド、広場、歩道はよく整備されていて、ボール遊びや休息に利用されている。また、湧水池の崖は急斜面であり、武蔵野台地のハケ（湧水点）の状況をよく示している。崖崩れの危険性はあるが、土留工が施されていて安全が保たれている。

台地上の広場は以前にはサクラが多く、春先には美しく咲き誇っていたが、近年は老木になっていて数も少なくなり、衰えが著しい。なお、野草の愛好家による植栽が多くなされ、局所的に珍しい山野草がみられる。広場の一部では、湧水を利用した田んぼがつくられ、地域の団体の指導で毎年多くの親子が米づくりを体験している。





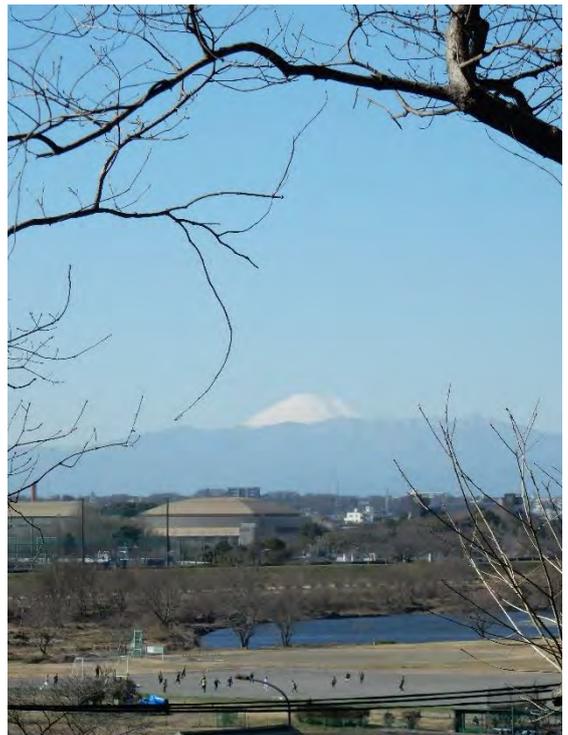
3. 多摩川台公園

多摩川台公園は、大田区内最大の雑木林が残されている。古墳展示室やアジサイ園、旧浄水場の沈砂池を利用した水生植物園もあり、散策を楽しむ人や虫捕り網を持った親子などで休日にはにぎわっている。また高台からの多摩川や富士山の景色を楽しむ絶好のポイントが多数ある。なお、今回の8月、11月、2月の調査ではアジサイ園、水生植物園から亀甲山古墳前広場に至るエリアが公園改修工事のため封鎖され、5月の調査を除き調査対象外地域となった（野鳥調査についても同様）。

多摩川台公園の植物種は、樹木類が49科119種、草本類が45科102種確認された。雑木林の植生は、高木としてコナラ、クヌギ、アカマツ、クロマツなど、中低木としてムラサキシキブ、ヤマグワ、エゴノキなど、地表の草木としてアズマネザサ、ヤツデ、ノイバラ、ツタ、シダ類などが卓越している。常緑樹林には、スタジイ、シラカシ、アカガシなどの高木とネズミモチ、ヤブツバキ、ヒサカキ、アオキ、シュロなどの中低木、およびアズマネザサ、ヤツデ、ヤマノイモ、シダ類、クズなどの地表の草木が茂っている。

また、グラウンド、広場、草地、歩道脇などには多くのサクラ、クスノキ、ハナミズキ、ムラサキシキブ、イロハモミジなどが植栽されており、かつ、アジサイ、サツキ、オオムラサキなどの低木も多くみられる。しかし、広場は以前からサクラ（ソメイヨシノ）の名所として有名であったが、現在は古木となり衰退が著しい。グラウンドの脇や草地にはアズマネザサのほか、クズ、オオバコ、エノコログサ、ヒメジオン、ドクダミなどの多くの草本類がみられる。

公園内の歩道はよく整備されていて、とても歩き易く、散策や自然観察にとって絶好である。雑木林の地表はほとんどアズマネザサに覆われているが、定期的に刈り込みが行われている。したがって、下草の種類は少なく、植生は短く、単調である。なお、水生植物園には、スイレンやキショウブなど、アジサイ園には多くのアジサイ類が植えられていて、花の季節には多くの来園者で賑わっている。



4. 宝来公園

宝来公園の植物種は、樹木類41科73種、草本類33科63種が確認された。雑木林の植生は、コナラ、クヌギの大木が卓越し、クロマツ、アカマツの高木もみられ、ムラサキシキブ、ヒサカキ、ヤブツバキなどの中低木と、地表にはアズマネザサやシダ類が目立っている。面積は狭いが典型的な雑木林が現在もみられる。

広場、歩道脇などには、ケヤキ、クスノキ、スダジイなどの高木とウメ、キンモクセイ、イロハモミジ、サツキ、オオムラサキ、アジサイなどの中低木が植えられている。池には多くのキシノウブがみられ、生物の生息も多い。公園内の広場、歩道はよく整備されている。また、下草の管理が行き届き、下草は短く、種類が単調である。



2. 4 本調査 生物調査 <野鳥>

専門家2名による5月、8月、11月、2月の4回の調査時に観察された野鳥の記録をまとめた。

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された野鳥



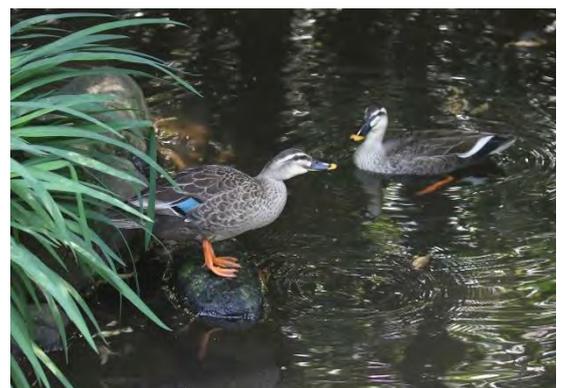
ツミ



オオタカ



マガモ



カルガモ



キジバト



カワセミ



コゲラ



アオゲラ



ハクセキレイ



ヒヨドリ



ツグミ



センダイムシクイ



シジュウカラ



メジロ



アオジ



アトリ



ムクドリ



オナガ



ハシボソガラス



ワカケホンセイインコ

2016年度大田区「雑木林のみち」野鳥調査集計表

科目	種名	6月調査				8月調査				11月調査				2月調査				年間調査結果			
		六郷用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	六郷用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	六郷用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	六郷用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	六郷用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園
カイツブリ科	カンムリカイツブリ															(1)					
ウ科	カワウ		1	(9)	1			(1)				(600)				(1)					
サギ科	アオサギ			(2)				(9)				(4)				(4)					
	ダイサギ							(1)				(60)									
タカ科	コサギ			(2)								(40)				(1)					
	トビ						1							1							
ツミ	ツミ				2																
	オオタカ											(1)				(1)					
ハヤブサ科	チョウゲンボウ			(1)																	
カモ科	ヒドリガモ											(18)				(4)					
	コガモ											(40)				(160)					
	マガモ									14	(3)	24		2			26				
ウイナ科	カルガモ	○	2		2			(21)		44	3(6)	○		4	(4)						
	オオバン											(43)				(13)					
カモメ科	セグロカモメ											(1)									
	ユリカモメ											(12)									
ハト科	コサシ			(2)																	
	キジバト	1	1	1	2				2	1	2	4	2	1	6	4	9				
カワセミ科	カワセミ										1						○				
キツツキ科	コゲラ			3	○			1	1			4	2		○	3	2				
	アオゲラ																○				
ツバメ科	ツバメ	○	3	5				1(3)													
セキレイ科	キセキレイ													1							
	ハクセキレイ											2	2			1					
ヒヨドリ科	ヒヨドリ		5	16	6		1	5	2	10	60	65	25	5	6	6	6				
モズ科	モズ											2									
ヒタキ科ツグミ亜科	ジョウビタキ										1					1					
	アカハラ *											*								*	
	シロハラ													○	3	1					
ヒタキ科ウグイス亜科	ツグミ														2	1					
	ウグイス		○							○	1	2		○	1	2	1				
	センダイムシクイ							1													
エナガ科	エナガ			6							5				2	5	○				
シジュウカラ科	シジュウカラ	5	5(果立)	3(7果立)	1(11果立)		4	3	3	○	4	15	2	1	6	5	3				
メジロ科	メジロ			7				3		8	10	29	3	5	2	7	○				
ホオジロ科	アオジ														1						
アトリ科	アトリ													26	5	1					
	カワラヒワ			2						1		1			2						
	シメ										1			1	1	1	1				
ハタオリドリ科	スズメ	10	9	5		1	1	1		3				9			2				
ムクドリ科	ムクドリ	3	7	14	1	14	50			1	8				1	4	16				
カラス科	オナガ	1			6(黒)		1	2				○		3			1				
	ハシボソガラス		1		1						2			2			1				
	ハシブトガラス		5	7	7(黒)	2	15	7	2	2	4	13	2	2	4	7	1				
その他	アカハラまたはマヒチヤジナイ											*声のみ									
	ドバト			(10)				3		26	11			3	6	4					
	ワケホンセイインコ	1	2	6	2					3	○	○	2		○	10	4				
	交雑カモ										1				1						
確認された種数		8	12	12(6)	12	3	7	9(4)	6	11	17	13(12)	10	13	21	16(9)	19	13科18種	16科26種	16科22種(8科14)	17科23種
		16科 18種 (4科 6種)				12科 12種 (3科 4種)				16科 21種 (6科 12種)				17科 26種 (6科 9種)				20科 32種 (8科 15種)			

() は、多摩川遠望で確認されたもの
 ○ は、専門調査員以外が調査中確認したもの

今回の調査で「雑木林のみち」全体では、20科32種（多摩川を含めると25科44種）が記録された。地域別ではせせらぎ公園が一番種類が多く19科29種、次いで宝来公園の17科23種、多摩川台公園の16科22種（多摩川を含むと23種35種で最多）、六郷用水の13科18種となる。それぞれの地域に生息環境として共通する点は、①林の存在と②水場の存在である。林はいずれも崖線面に残されている場合が多く、人が容易に入れない状態になっている。そのため、高木と中低木、下草が混在している。これは餌となる実がなり、昆虫などの生息にも適し、樹林性の鳥の生息が可能である。しかしながら、公園という性格から日中は利用者が多く、また必要以上の下草刈りなどは生息への影響を考えなくてはならない。また、ここにある雑木林や松林などは古くから地域の人たちによって大切にされてきたため、大木がまとまってあり、鳥たちの営巣場所としても貴重な存在となっている。

水場は、水鳥の生息場所であると同時に、鳥たちの水飲み場ともなる。また、セキレイなど小昆虫を餌とする鳥にとっては、大切な餌場である。

調査員からの報告および考察

1. 六郷用水 崖線樹林

六郷用水は水域であるものの、専門員調査ではカモ類やサギ類などの水鳥は全く記録されなかった。これは用水の幅が3メートル程しかなく、すぐ脇が歩道と車道になっていることが大きく影響している。冬期調査では用水の底の泥にサギ類の足跡が確認されたことから、人や車の通行が少ない早朝や夜間などに飛来していると推測される。鳥以外では在来種のクサガメの他に外来種のみししっぴアカミミガメの多さが際だっていた。一方、崖線樹林ではヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、オナガなど樹林性の陸鳥が記録された。しかし樹林が密生しているため、その姿を観察することはなかなか困難であった。

2. 田園調布せせらぎ公園

公園内には中小の池が3つほどあるが、中央の池に水鳥のカルガモとマガモが記録されている。また秋期調査ではカワセミ1羽も確認された。樹林地は大木が多く下草も茂っていて、鳥の生息には好環境となっている。秋～冬の時期はエノキ、ムクノキなど実のなる樹木にヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、シロハラ、メジロなどが採餌に飛来している。冬期調査では地上に落ちたケヤキなどの種子を多数のアトリが採餌しているのが観察された。公園であるのでやむを得ないことではあるが、日中は公園利用者が多く、鳥の生息に少なからず影響を与えている可能性がある。

3. 多摩川台公園

公園内には湿性植物園以外の水域はなく水鳥は確認されなかった。しかし、多摩川を遥かに展望する広場からは各種のカモ類、サギ類、カモメ類、カイツブリ、カワウ、オオバンなど多くの水鳥が季節毎に記録された。だが、鳥までの距離がかなり遠いため、双眼鏡などの観察機材なくしては、観察に来た人々が鳥を十分に観察するのは困難と思われた。

樹林地は大木や中低木が多くエノキ、ムクノキ、ハゼノキ、クロガネモチなど実のなる木に樹林性の鳥が採餌のために飛来するのが観察された。しかし、2月には下草とササが極度に刈り取られて、アオジ、ウグイス、シロハラなど藪を好む鳥種の生息が脅かされるようになっている。全面的な下草刈りは好ましくなく、部分的なパッチ状の刈り方をすることにより、多様な生物の棲息が可能になるものと考えられる。

4. 宝来公園

公園の谷側にある池では春期に少数のカルガモ、秋冬期に比較的多くのマガモを記録している。鳥以外では少数のクサガメと多数のミシシippアカミミガメや、トンボ類、チョウ類などの昆虫も多く記録された。樹林地は大木が多いが、低木や下草が少なく、樹林性の鳥はさほど多くはない。ヒヨドリ、シジュウカラ、ムクドリ、コゲラ、メジロなどに限られている。また、夏期調査では渡り途中のセンダイムシクイが記録されている。本調査は年4回で秋の渡り最盛期の9～10月の調査がないため、本来は渡来している秋の渡り鳥が記録されなかった。そうした状況下でたまたま早い時期に渡来したセンダイムシクイが確認されたことは意義があることと思われる。

2. 5 本調査 生物調査 <その他>

今回の調査は、区民が身近に感じ、観察できる生き物を主な対象として行った。確認された生き物として昆虫類、爬虫類、両生類、甲殻類、魚類がいた。

これらの種類の生き物の調査にあたっては、特に保護柵の中に入ったり、植物をかき分けて地表近くを探す、網を使って水中を探るなどの方法はとらず、調査コースを歩きながら観察された生き物を記録した。

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された昆虫



アブラゼミ



ミンミンゼミ



ヒカゲチョウ



アオスジアゲハ



コシアキトンボ



シオカラトンボ



クロスジギンヤンマ



ナナホシテントウ

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された爬虫類



クサガメ



ミシシippアカミミガメ



ヤモリ

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された両生類



ウシガエル（資料写真 多摩川台公園）



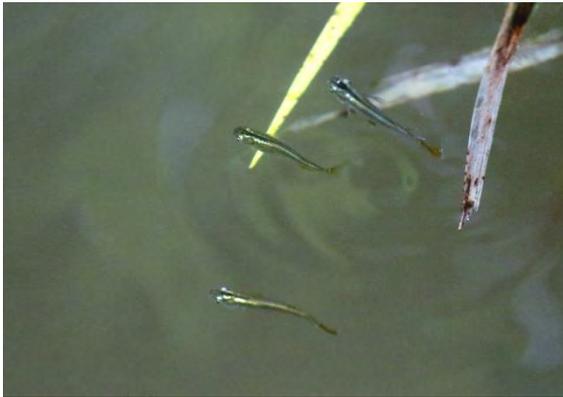
ヤマアカガエル（卵塊）

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された甲殻類



アメリカザリガニ

大田区自然観察路「雑木林のみち」で観察された魚類



メダカ



ニゴイ



コイ



ソウギョ



オイカワ

2016年度大田区「雑木林のみち」生き物調査集計表

	科目	種名	6月調査				8月調査				11月調査				2月調査				年間調査結果			
			大森用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	大森用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	大森用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	大森用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園	大森用水	せせらぎ公園	多摩川台公園	宝来公園
昆虫類	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	○	○	○	○		○	○	○												
		キアゲハ							○	○												
		クロアゲハ		○	○	○		○	○	○												
		ナガサキアゲハ								○												
		ナミアゲハ						○	○													
	シロチョウ科	キタキチョウ		○	○			○	○													
		モンシロチョウ		○	○			○														
	シジミチョウ科	ウラギンシジミ							○			○										
		ムラサキシジミ						○														
		ヤマトシジミ							○													
	タテハチョウ科	アカタテハ												○								
		アカボシゴマダラ		○		○		○	○	○												
		キタテハ			○																	
		コムスジ				○		○	○													
		サトキマダラヒカゲ						○	○													
		ツマグロヒョウモン						○	○					○								
		ヒカゲチョウ			○																	
		ルリタテハ										○										
	スズメガ科	オオスカシバ			○																	
	カマキリ科	カマキリの仲間							○	抜け熊												
	オンブバッタ科	オンブバッタ												○								
	コオロギ科	ツツレサセコオロギ											○									
	カネタタキ科	カネタタキ											○									
	セミ科	アブラゼミ					○	○	○	○												
		クマゼミ								○												
		ツクツクボウシ					○	○	○	○												
		ヒグラシ								○												
		ミンミンゼミ					○	○	○	○												
	アメンボ科	アメンボ			○	○								○								
	オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ												○								
	オニヤンマ科	オニヤンマ						○														
	ヤンマ科	クロスジヤンマ		○	○	○																
トンボ科	ウスバキトンボ						○															
	コシアキトンボ				○	○	○	○				○										
	シオカラトンボ					○	○					○										
	コガネムシ科	クロコガネ			○																	
オサムシ科	アオオサムシ								○													
ソウムシ科	コナラシギソウムシ								○													
スズメバチ科	オオスズメバチ												○									
ミツバチ科	キムネクマバチ(クマバチ)								○													
アナバチ科	クロアナバチの仲間								○													
爬虫類	トカゲ、ヤモリの仲間	カナヘビ												○								
		ヤモリ								○												
	カメの仲間	クサガメ	○	○		○	○				○	○			○							
	ミンシツピアカミミガメ	○	○		○	○				○	○			○								
両生類	カエルの仲間	ヤマアカガエル																	○	脚		
	ウシガエル			○	ワキワキ																	
甲殻類		アメリカザリガニ			○						○	○										
魚類	メダカ	メダカ			○																	
		コイ						○				○										
		ニゴイ						○														
		オイカワ						○														
		ウグイ						○														
		ソウギョ						○					○									

今回の「雑木林のみち」調査で昆虫41種、爬虫類4種、両生類2種、甲殻類1種、魚類6種が記録された。

昆虫はチョウの仲間が19種で一番多く、アゲハチョウ、シロチョウ、シジミチョウ、タテハチョウ、スズメガの仲間がみられた。樹林が多いためか、アオスジアゲハ、クロアゲハやタテハチョウの仲間が目立った。夏にはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシのほか、クマゼミ、ヒグラシも多摩川台公園で確認された。また、水場があるため、トンボの仲間が5種とアメンボが確認された（多摩川台公園は、水生植物園周辺が工事で立ち入りできなかつたため、8月の調査でトンボは確認されていない）。

爬虫類は8月調査でカナヘビ（宝来公園）、ヤモリ（多摩川台公園）が確認された。カメは、多摩川台公園を除く3か所でクサガメ、ミシシippアカミミガメが確認された。冬にクサガメはみられなかったが、ミシシippアカミミガメは年間を通じてみられた。ミシシippアカミミガメは侵略的外来種ワースト100にも指定されていて、今後、「雑木林のみち」を管理整備する上で、クサガメを含む在来種の生息状況の経過観察と共に、駆除を含めた根本的な対策が必要である。

両生類は、ヤマアカガエルの卵塊が2月、宝来公園の噴水池で確認された。宝来公園でのヤマアカガエル（成体）の確認はされていないが、卵塊は2000年の「身近な生き物調査」でも同じ場所で確認されているので、継続してこの公園内に生息しているものと思われる。生息環境保全のためにも夏期、夜間の水辺調査を行い、成体を確認することが望まれる。ウシガエルは多摩川台公園の水生植物園でオタマジャクシが確認された。この池にはアメリカザリガニもいて、成体の餌も豊富と考えられる。

「雑木林のみち」の池、水路では、メダカが多摩川台公園で確認された。ほかに六郷用水でコイ、ニゴイ、オイカワ、ウグイ、そして外来種のソウギョが確認された。都市の公園、水路に共通することだが、コイのほとんどがマゴイだけではなく、錦鯉が必ず泳いでいるのはここでも例外ではなかった。

今回、哺乳類については確認できなかったが、本調査以外の時間帯、夕方近くに近くの多摩川河川敷でアブラコウモリの飛翔が確認されている。

2. 6 協働調査 <区民参加による調査普及活動>

区民協働調査は、2000年に実施された区民参加による「身近な生き物調査」がベースになっている。身近に生息する生き物を、身近に観察（調査）することを目的にしている。これまでに身近な生き物を対象にしたセミのぬけがら調査（2011年）、コオロギ調査（2013年）が行われている。

2014年からは、大田区自然観察路を対象にした自然豊かな地域について植物・樹木、野鳥をメインにした生き物協働調査を行っている。

（2014年「縄文のみち」、2015年「海と埋立地のみち」）。

協働調査の特徴として、専門家による調査に加えて、一般区民の参加による調査を観察会の形で実施している。今回は7月3日（日）と10月16日（日）に多摩川台公園で実施した。

第1回 区民協働調査観察会

日 時：2016年7月3日（日）10:00～12:00

天 候：晴

場 所：多摩川台公園および宝来公園

講 師：山邊 功二（おおた野外博物館）

参加者：一般募集による区民（親子10組30名）

実施状況：

多摩川台公園のアジサイ園、水生植物園で花や水辺の植物を観察した後、亀甲山古墳前の広場で多摩川を展望しながら崖線、雑木林の解説。古墳展示室横のメタセコイアをみて、雑木林、アカマツ林の散策路を宝来山古墳に向けて歩いた。途中、子どもたちは持ってきた虫捕り網でチョウなどを捕獲したので説明をした。

宝来公園では、池の植物を観察し、高台上の広場でまとめを行い解散した。



第2回 区民協働調査観察会

日 時：2016年10月16日（日）10:00～12:00

天 候：晴

場 所：多摩川台公園

講 師：小野 紀之（地域パートナーシップ支援センター）

参加者：一般募集による区民（親子10組20名）

実施状況：

多摩川台公園で実施。季節柄、昆虫や開花中の花も少ないので、木肌にふれたり、においをかぐなど五感を使った自然観察の方法を学んでもらうプログラムで参加者に楽しんでもらった。最後は、広場の隅にブルーシートを敷き、秋にふさわしいどんぐりを使ったストラップづくりを通じて、どんぐりの種類についても解説した。



大田区自然観察路「雑木林のみち」の生物・植物についての区民協働調査
実施報告書

発行 2017年3月

一般社団法人 地域パートナーシップ支援センター

東京都大田区矢口1-21-6
